

石川県地震概況（令和7年3月）

令和7年4月14日
金沢地方気象台

1. 概況

令和7年（2025年）3月に石川県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は12回（先月25回）で、いずれも令和6年能登半島地震の活動域及びその周辺（図の領域a）で発生しました。

令和6年能登半島地震の活動域とその周辺では、地震活動が活発な状態が継続しています。（令和7年4月 地震防災メモ②を参照）。

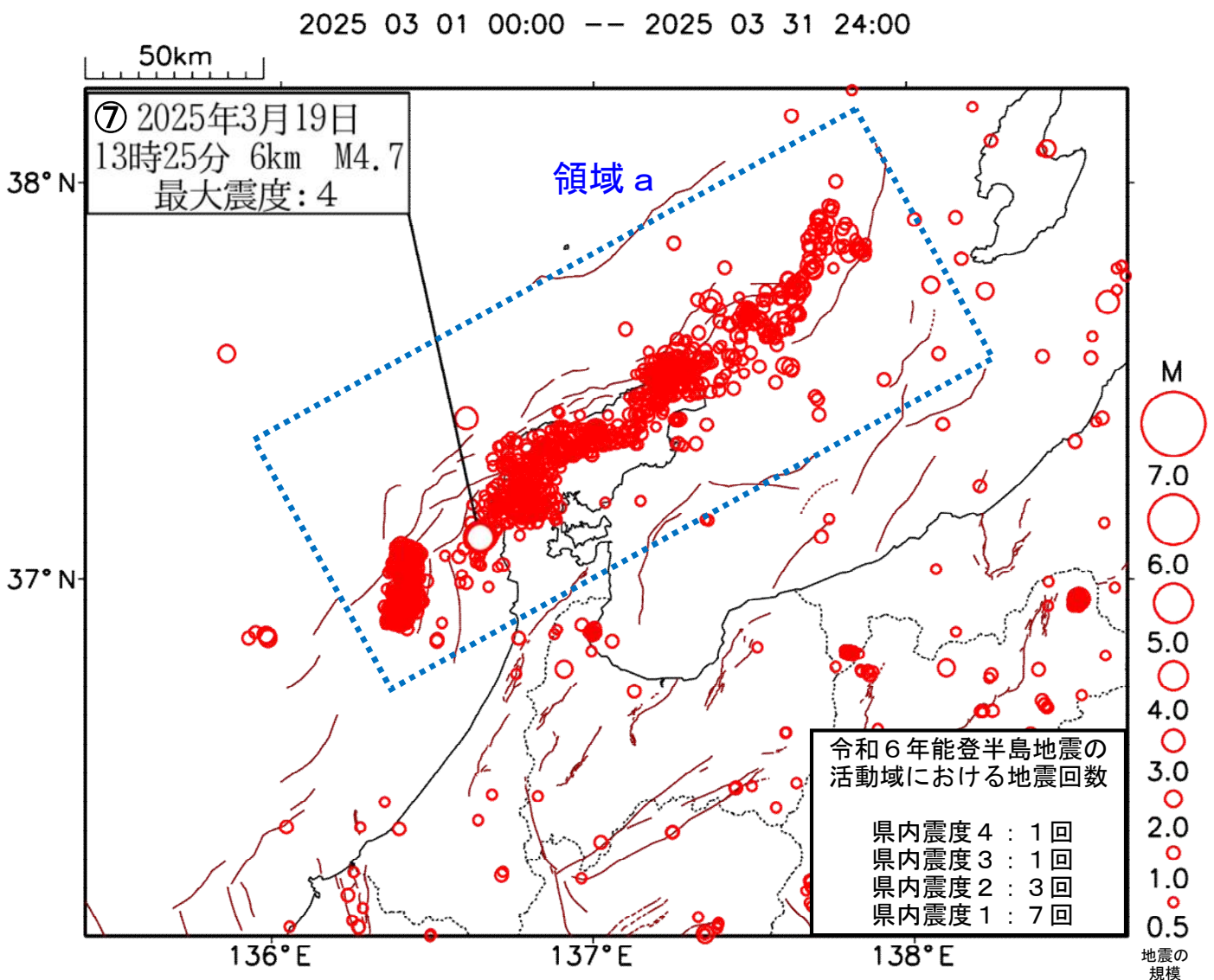


図1 令和7年（2025年）3月の深さ30km以浅、M0.5以上の地震の震央分布図
地殻内で発生した地震のみ表示しています。

図の茶色線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

①などの数字は4項「震度1以上を観測した地震の表」の地震を示す。

この資料は速報であり、後日の調査により修正することがあります。

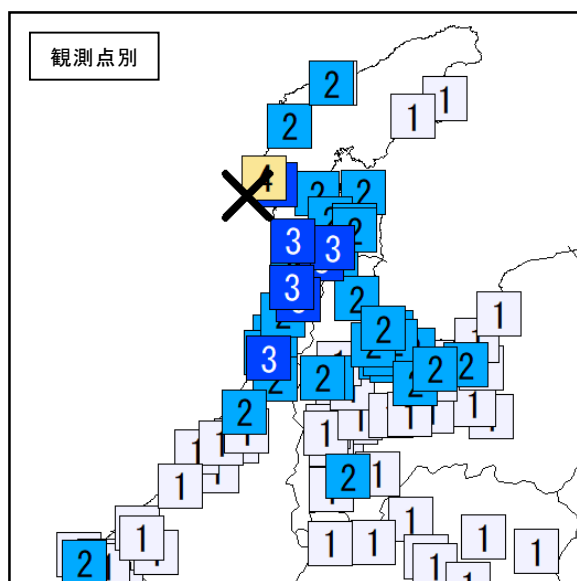
2. 過去1年間に石川県内で震度1以上を観測した地震の震度別回数表

年	2024年									2025年			
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
震度1	33	20	27	18	12	14	8	88	24	9	18	7	278
震度2	9	6	5	4	4	4	6	41	12	2	5	3	101
震度3	4	2	1	1	1	0	0	6	1	2	2	1	21
震度4	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	3
震度5弱	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
震度5強	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
震度6弱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
震度6強	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
震度7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	46	28	35	23	17	18	14	137	37	13	25	12	405

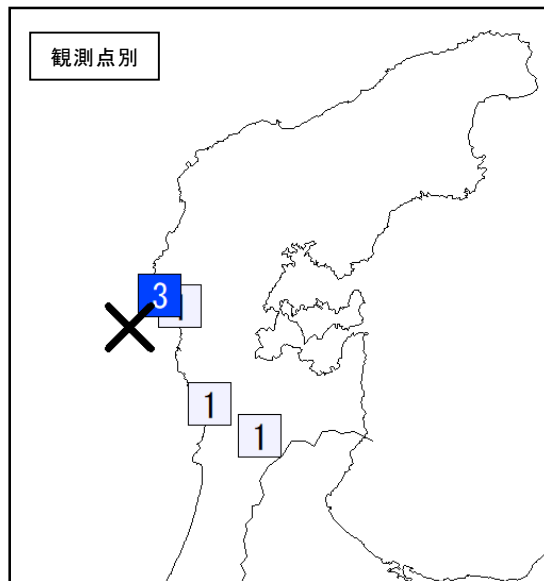
3. 令和7年（2025年）3月に石川県内で震度1以上を観測した地震の震央と震度分布図 ※令和6年能登半島地震の活動域（領域a）の地震活動については最大震度3以上の震度分布図のみ掲載。

震度1以上の地震については気象庁HP「震度データベース検索」※を参照

※ <https://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.html>



⑦3月19日13時25分 能登半島沖
深さ 6km M 4.7（石川県周辺）



⑧3月20日04時25分 能登半島沖
深さ 7km M 3.3（能登地方）



4. 令和7年（2025年）3月に石川県内で震度1以上を観測した地震の表

地震の発生日時 各地の震度	震央地名	緯 度	経 度	深 さ	地震の規模
① 3月2日18時55分 震度2：輪島市鳳至町 震度1：輪島市河井町＊, 能登町柳田＊, 能登町松波＊	石川県能登地方	37° 23.1' N	137° 00.4' E	5 km	M 3.2
② 3月4日09時42分 震度1：志賀町香能＊	石川県西方沖	36° 55.9' N	136° 23.0' E	13 km	M 3.4
③ 3月10日05時49分 震度1：珠洲市正院町＊	石川県能登地方	37° 29.7' N	137° 14.2' E	13 km	M 2.6
④ 3月14日06時20分 震度1：志賀町香能＊	石川県西方沖	37° 05.2' N	136° 23.7' E	10 km	M 3.7
⑤ 3月15日21時22分 震度2：珠洲市正院町＊ 震度1：珠洲市三崎町, 珠洲市大谷町＊	能登半島沖	37° 34.8' N	137° 15.8' E	10 km	M 3.7
⑥ 3月17日02時36分 震度2：志賀町香能＊ 震度1：志賀町富来領家町	能登半島沖	37° 07.1' N	136° 38.1' E	6 km	M 3.1
⑦ 3月19日13時25分 震度4：志賀町香能＊ 震度3：羽咋市旭町＊, 志賀町富来領家町, 志賀町末吉千古＊, 宝達志水町子浦＊, 中能登町末坂＊, 中能登町能登部下＊, かほく市宇野気＊ 震度2：七尾市本府中町, 七尾市袖ヶ江町＊, 七尾市垣吉町＊, 七尾市能登島向田町＊, 七尾市中島町中島＊, 輪島市鳳至町, 輪島市門前町走出＊, 羽咋市柳田町, 宝達志水町今浜＊, 中能登町井田＊, 金沢市西念, 津幡町加賀爪, かほく市浜北＊, かほく市高松＊ 震度1：輪島市河井町＊, 能登町宇出津, 能登町松波＊, 金沢市弥生＊, 小松市小馬出町, 加賀市直下町, 加賀市大聖寺南町＊, 加賀市山中温泉本町＊, 白山市倉光＊, 白山市美川浜町＊, 能美市来丸町＊, 野々市市三納＊	能登半島沖	37° 06.9' N	136° 38.4' E	6 km	M 4.7
⑧ 3月20日04時25分 震度3：志賀町香能＊ 震度1：志賀町富来領家町, 志賀町末吉千古＊, 中能登町能登部下＊	能登半島沖	37° 06.8' N	136° 38.2' E	7 km	M 3.3
⑨ 3月20日17時35分 震度1：羽咋市柳田町, 羽咋市旭町＊, 志賀町香能＊, 宝達志水町子浦＊, 宝達志水町今浜＊, 津幡町加賀爪, かほく市浜北＊	石川県西方沖	36° 56.4' N	136° 25.1' E	12 km	M 3.7
⑩ 3月26日00時46分 震度1：志賀町香能＊	能登半島沖	37° 06.2' N	136° 38.9' E	6 km	M 2.6
⑪ 3月28日04時41分 震度1：輪島市鳳至町, 輪島市河井町＊	石川県能登地方	37° 23.3' N	136° 53.4' E	9 km	M 2.7
⑫ 3月29日13時21分 震度1：志賀町香能＊	石川県西方沖	36° 55.2' N	136° 22.9' E	13 km	M 3.2

石川県で震度1以上を観測した地震について、石川県内の各地の震度を掲載しています。

＊の付いた観測点は石川県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点、他は気象庁の観測点です。

この資料は速報であり、後日の調査により修正することがあります。

※この資料に関する問い合わせ先 金沢地方気象台 地震担当 電話番号 076-260-1462

金沢地方気象台ホームページにも掲載しています。 <https://www.data.jma.go.jp/kanazawa/shosai/siryou.html>

「トップページ」>「気象台の刊行物・観測統計資料」>「農業気象速報・気象概況・地震概況・気象年報」から閲覧できます。

※本資料中のデータについて

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、EarthScope Consortium の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています

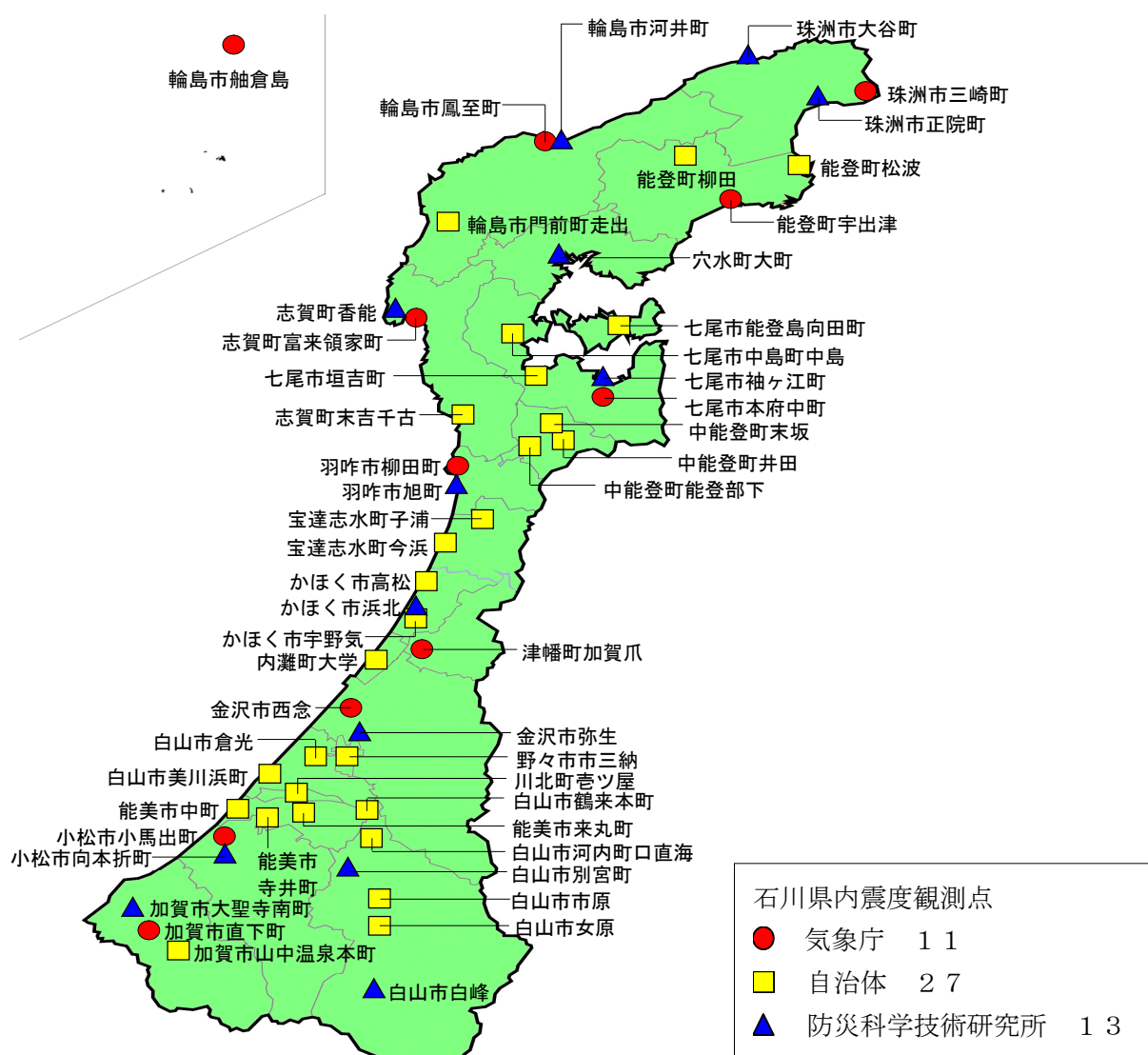
石川県の震度観測点

石川県内では気象庁 11 地点、自治体 27 地点、（国研）防災科学技術研究所 13 地点の合計 51 地点で震度の観測を行っています。テレビ等で発表される各市町の震度はこれらの観測点で観測されています。また、震度計は以下の目的で整備されています。

- ①気象庁の震度計は、国の初動対応の確立を目的として、甚大な被害の発生が懸念される震度 6 弱以上の揺れの地域を確実に把握するための観測網となるようにするため。
- ②自治体の震度計配備は、市区町村での初動対応の迅速化をするため。
- ③自治体の震度計整備は、震度情報を市区町村、都道府県及び総務省消防庁間にネットワークで速報することによる広域応援体制確立の迅速化をするため。

なお、自治体の震度計整備は平成の大合併以前の市町村において「1 市区町村 1 観測点」を原則としています。

また、（国研）防災科学技術研究所の強震観測網(K-NET)は、学術研究用として整備したものを、震度観測に利用しています。



(令和7年4月1日現在)

令和6年能登半島地震の活動域とその周辺で活発な地震活動が継続中

令和7年4月 地震防災メモ②
金沢地方気象台

【防災事項】

- 2024年1月1日に発生したM7.6の地震により揺れの強かった地域では、家屋の倒壊や土砂災害などの危険性が高まっているので、復旧活動などを行う場合には今後の地震活動や降雨の状況に十分注意。やむを得ない事情が無い限り危険な場所に立ち入らないなど身の安全を図る。
- 地震は海域でも発生しており、大きな地震が発生した場合は津波が発生することがあるので、避経路の確認などの備えも重要。
- 一連の活発な地震活動は当面継続するので、家具の固定、重量物の落下・転倒の防止を行うなど、強い揺れを伴う地震へ注意。
- 石川県では、大雨の影響で地盤が脆弱になっている場所があり、土砂災害の危険性が通常より高いと考えられる。
- 冬季の積雪が深いほど地震時に住宅にかかる負担が大きくなることから、住宅等の屋根の積雪状況についても留意。

【概況】

石川県能登地方では、2020年12月から地震活動が活発で、2023年5月頃からさらに活発となったあと、いったん地震活動が2020年12月以降の状態に戻ったが、2024年1月1日のM7.6の地震により、最大震度7を観測するなど能登半島を中心に強い揺れとなり、地震活動の更なる活発化とともに地震の発生領域も広がった。

2024年1月1日から1年以上が経過し、地震の発生数は増減を繰り返しながら、大局的には緩やかに減少してきているが、11月26日にM6.6の地震が発生するなど2024年1月1日のM7.6の地震後の活動域及びその周辺では、4年以上続く地震活動が依然として活発な状態。

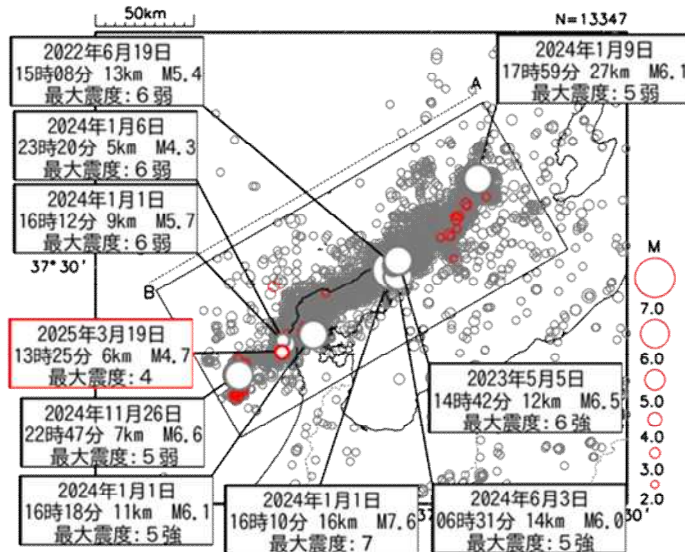
今期間（3月18日以降）、震度1以上の地震を6回観測した。今期間の最大規模の地震はM4.7の地震（19日13時25分、志賀町で震度4）である。

※震度は震度計のある場所で観測したものを発表している。震度1以上の地震情報を発表していない場合でも、震源直上の現地では揺れや音などを感じていると考えられる（地下の浅いところで発生する地震の場合、震源直上の震度はマグニチュードの数値に相当する傾向が見られる。例えばM2程度なら震度2程度、M4程度なら震度4程度の目安）

震央分布図 2020.11.1～2025.3.31 24時まで
M2.0以上、深さ30km以浅

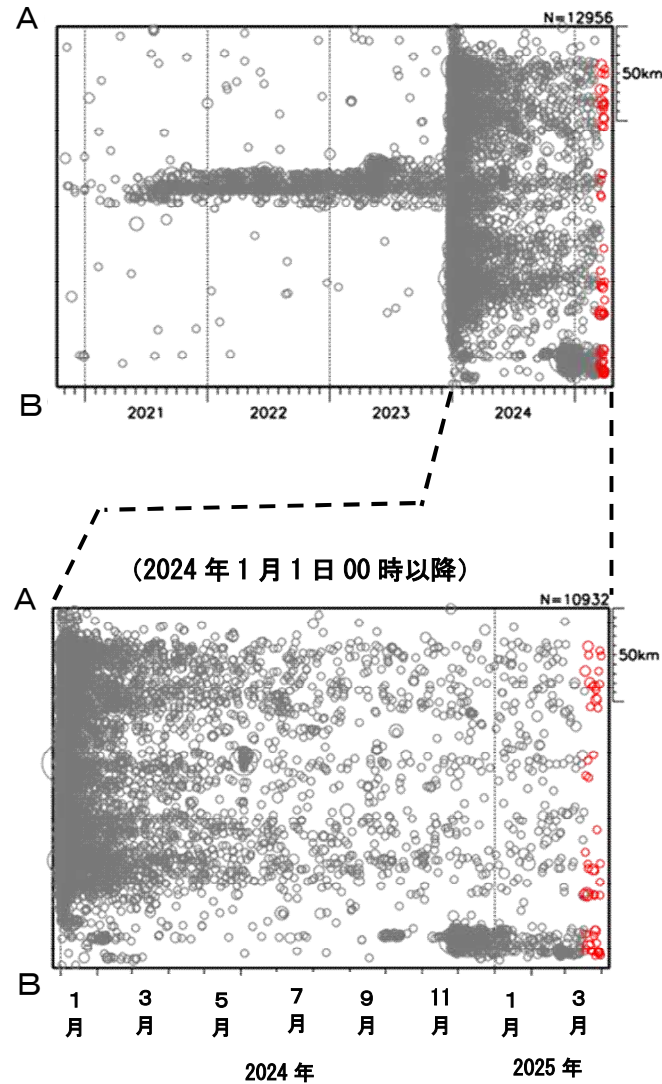
黒の吹き出しは、震度6弱以上
またはM6.0以上の地震

※3月18日以降の地震を朱色で表示
(赤の吹き出しは期間内最大M及び最大震度の地震)

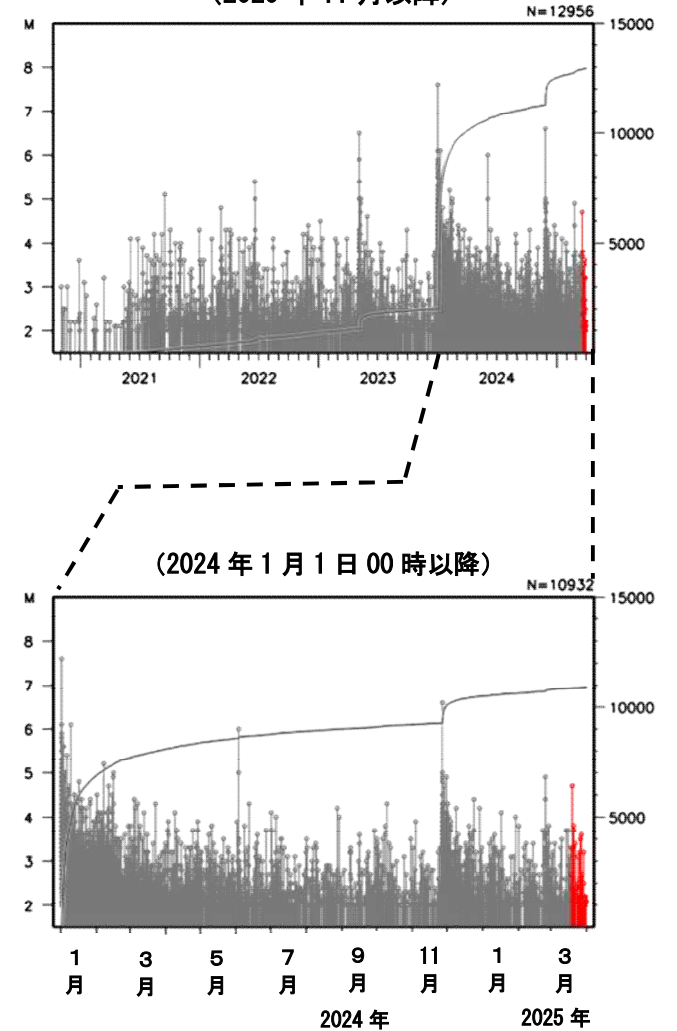


丸の大きさはマグニチュードの大きさを表す。
表示している震源のうち、3月31日00時以降の
ものは速報値。

時空間分布図
(矩形領域内: A-B 投影、2020年11月以降)

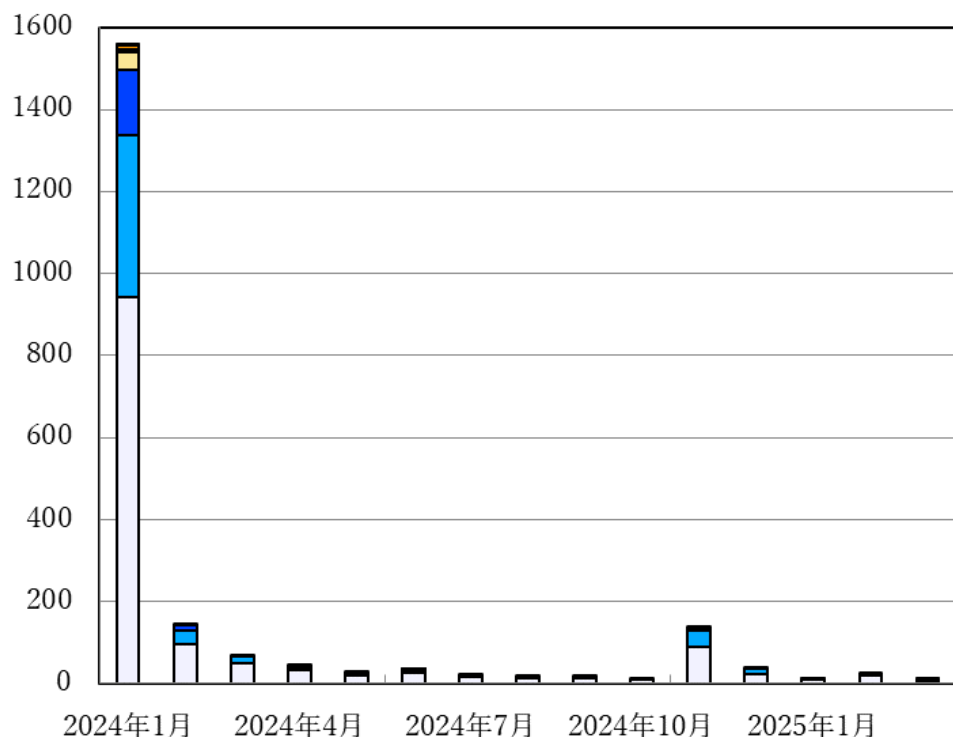


矩形領域内の地震活動経過図
(2020年11月以降)

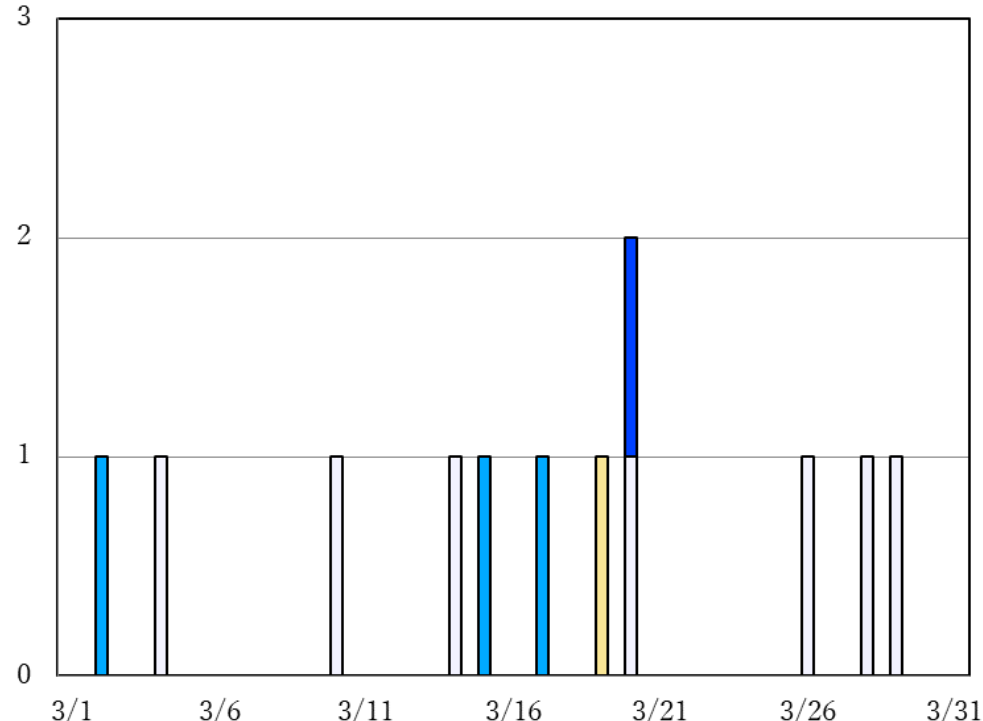


令和6年能登半島地震の日別・震度別震度回数(令和6年1月1日以降)

震度1以上の地震の月別回数 (2024年1月～2025年3月)



震度1以上の地震の日別回数(2025年3月1日～3月31日)



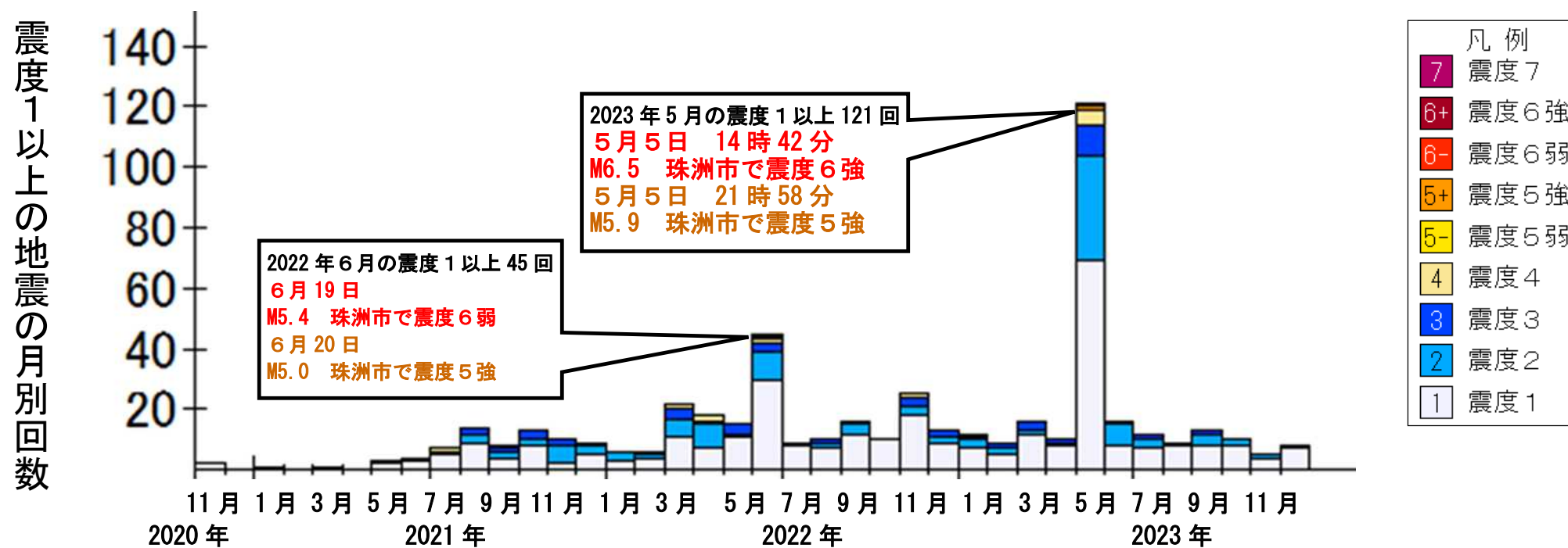
- 凡 例
- 7 震度 7
 - 6+ 震度 6 強
 - 6- 震度 6 弱
 - 5+ 震度 5 強
 - 5- 震度 5 弱
 - 4 震度 4
 - 3 震度 3
 - 2 震度 2
 - 1 震度 1

令和6年能登半島地震の地震活動による日別・震度別震度回数グラフ
(2024年1月1日～2025年3月31日24時まで)

○2024年1月に震度1以上を観測した地震は1558回。1月1日から3日は1日100回を超えていたが、次第に回数は減少。2月は144回、3月は70回、4月は45回、5月は28回、6月は35回、7月は20回、8月は18回、9月は18回、10月は14回、11月は136回、12月は37回、2025年1月は12回、2月は25回、3月は12回観測した。

(注)掲載している値は速報のもので、その後の調査で変更する場合があります。

令和6年能登半島地震の地震活動による月別・震度別震度回数(令和5年12月31日まで)



令和6年能登半島地震の地震活動による月別・震度別震度回数グラフ

(2020年11月1日～2023年12月31日まで)

※令和6年能登半島地震の地震活動と防災事項については、下記のポータルサイトが充実していますので、こちらも参照願います（この資料も掲載しています）。

○金沢地方気象台HP「石川県能登地方の地震活動と防災事項ポータルサイト」

<https://www.data.jma.go.jp/kanazawa/shosai/notojishinportal.html>